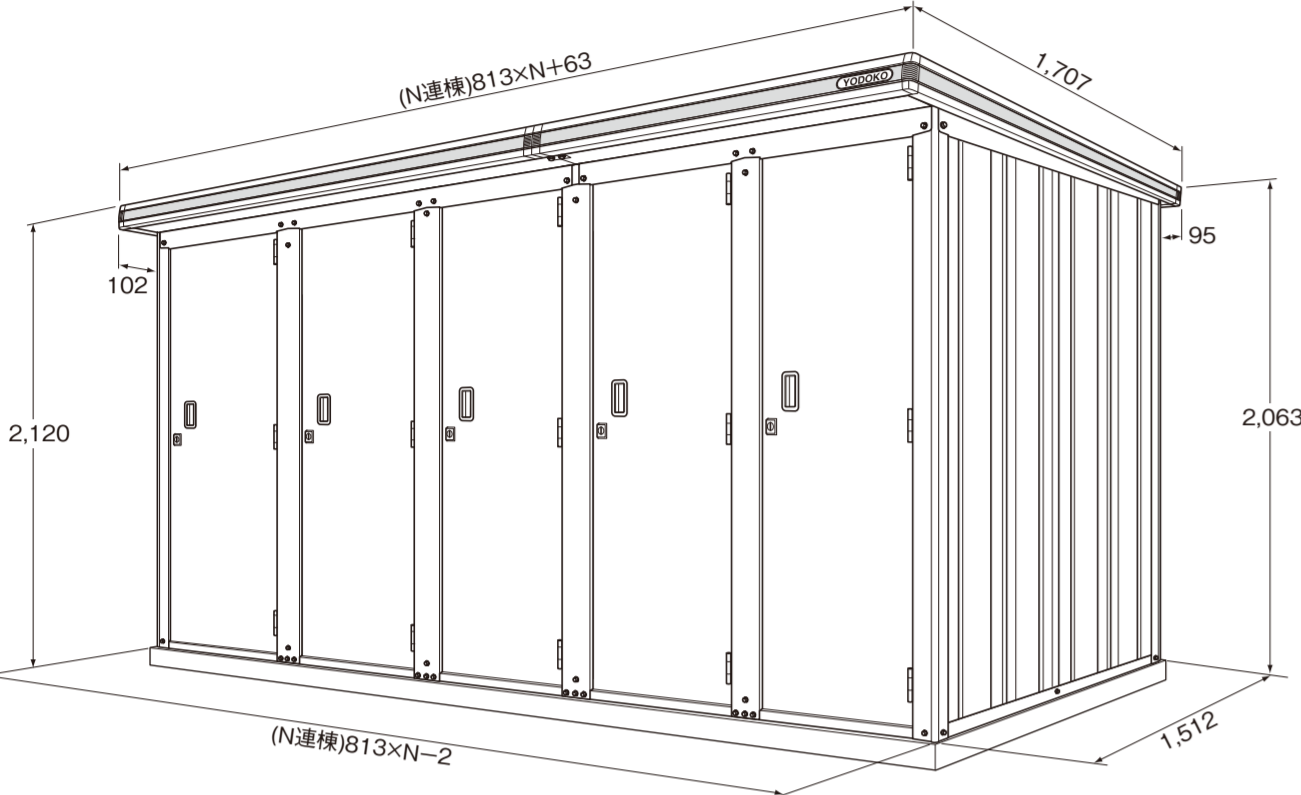


# ヨド物置 エルモ 連続型

## 組立説明書 LLD-0815型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
組み立てる前に、この「組立説明書」を必ずご確認ください。  
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。

※この組立説明書は「0815×5連続」の絵で説明していますが、何連続でも手順は同じです。  
「梱包組合せ表」「梱包内容表」「基礎施工例(参考図)」については、別紙をご確認ください。  
よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者にご依頼ください。)

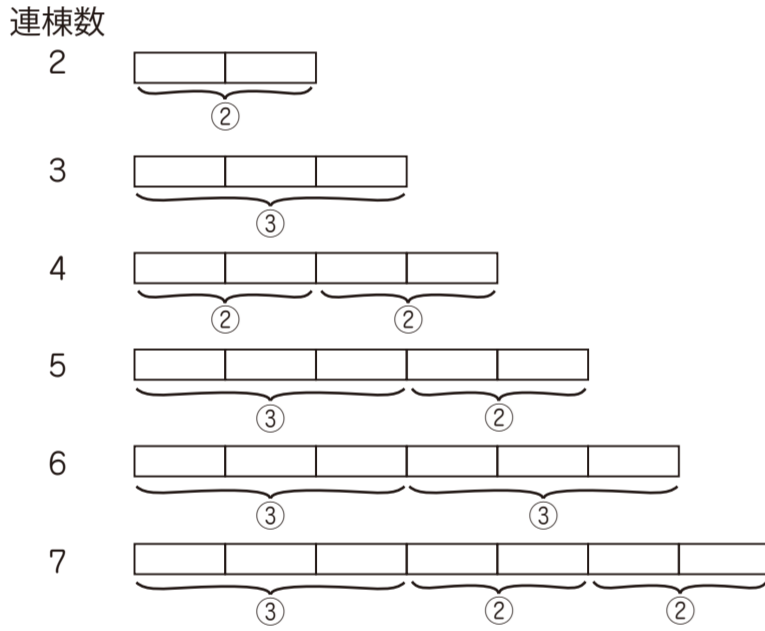


鍵は部品箱の中に入っています。



**注意** 本機種の前後材(下枠前、下枠後、上枠前、上枠後、鼻隠し前、鼻隠し後)は2連棟用と3連棟用で構成されており、連棟数に応じてその組み合わせが異なりますので、施工前に下図を御確認ください。

<前後材の組合せ> ②:2連棟用部材 ③:3連棟用部材



### ●設置場所の制限

#### △注意

1. 建物の屋上には設置しないでください。
2. パルクレー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
3. 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
4. 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
5. 給湯器の前には設置しないでください。

### ●施工前の注意点

#### △注意

1. アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
2. ブロック等の基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
3. 部材は、全て調整です。手で手を切らないようくれぐれもご注意ください。
- ※安全のため必ず手袋を着用してください。
4. 重い部材・梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
5. 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
6. 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
7. 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

### ●施工時の注意点

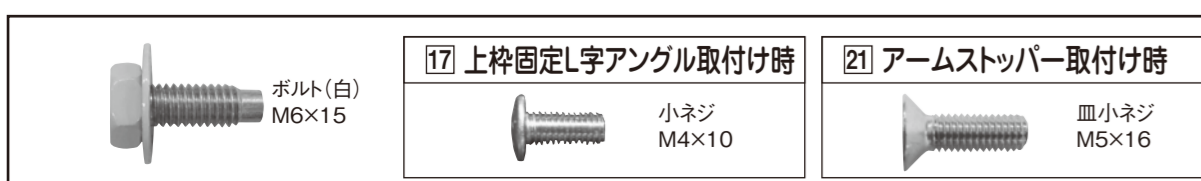
#### △注意

1. まずご注文通りの商品かどうかを別紙の梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
2. 部材の共通化のため、実際には使用しない孔の空いている部材がありますが、説明書に従って組み立ててください。
3. 部材名称の左右は、正面に向かって右側に取付部材を右、左側に取付部材を左とします。
4. 部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組み立ててください。ボルト孔が合わなかった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を調整してください。
5. 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

### ●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)

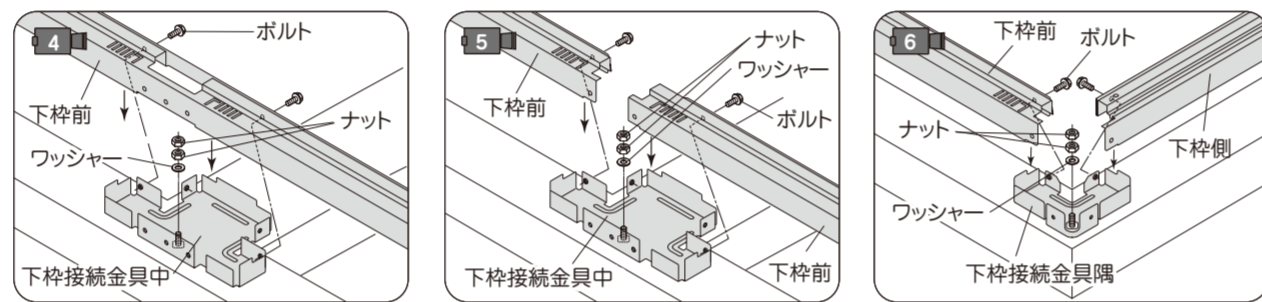
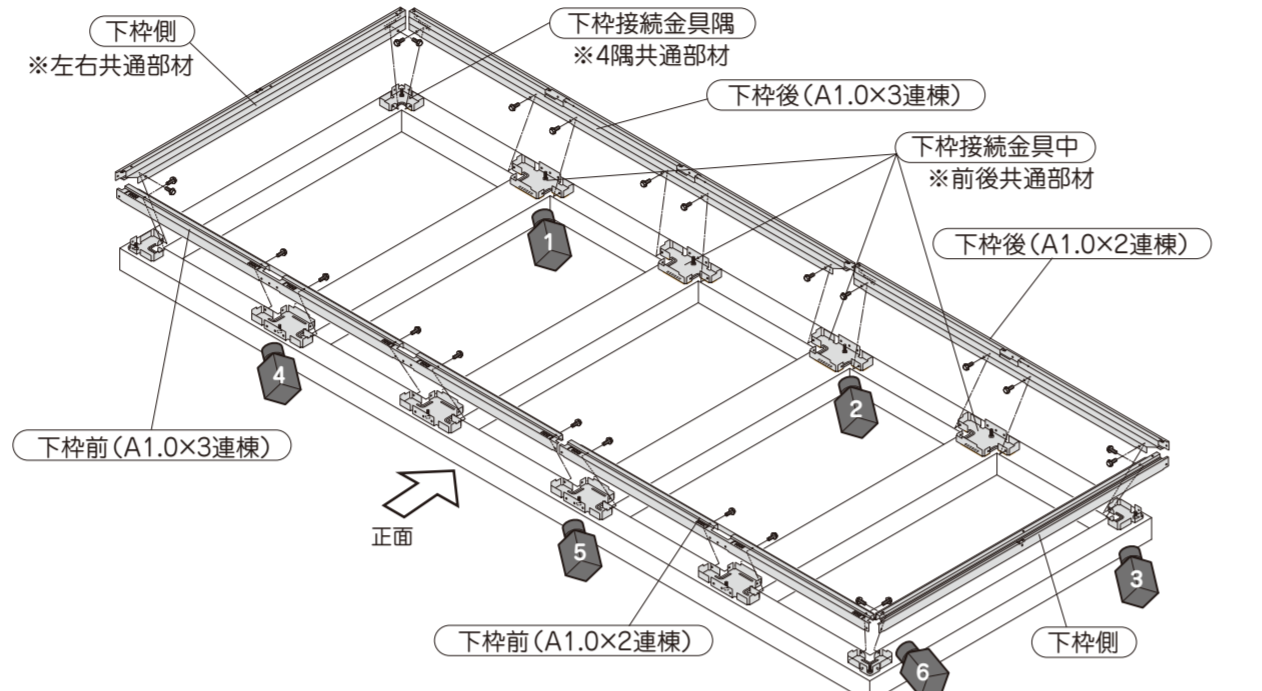
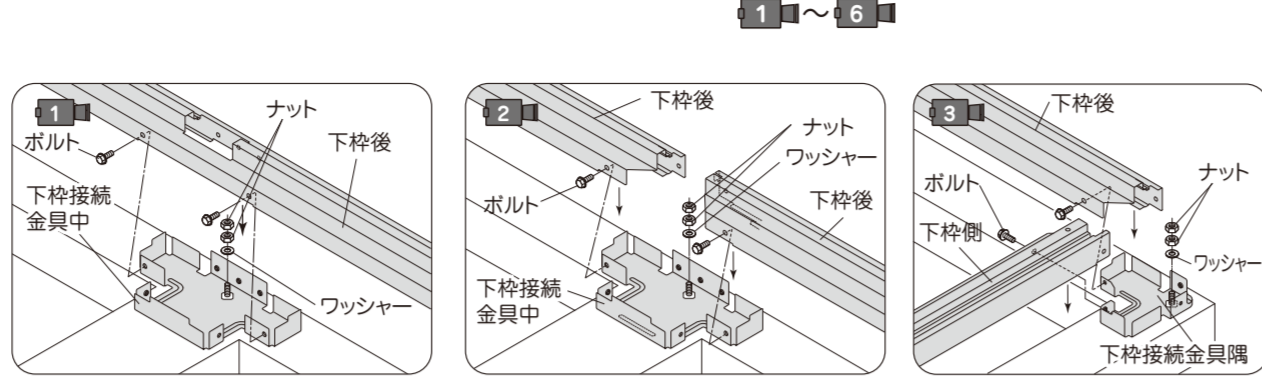
- ・軍手・水準器・脚立・M6ボルト、アンカーボルト締結用のスパナ又はモンキーベンチ等工具
- ・ドライバー・ドライバー・ハンマー・W1/2用アンカーボルト・ナット・ワッシャー

### ●使用ビス(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)



## 1 下枠接続金具・下枠前後・下枠側の組立

- ① 下枠接続金具隅・下枠接続金具中 のひし形の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャーとナット×2で固定します。
- ② 下枠前・下枠後・下枠側 を上からかかしてボルト止めします。



拡大図は全体図のカメラ の視点から見た図になっています。

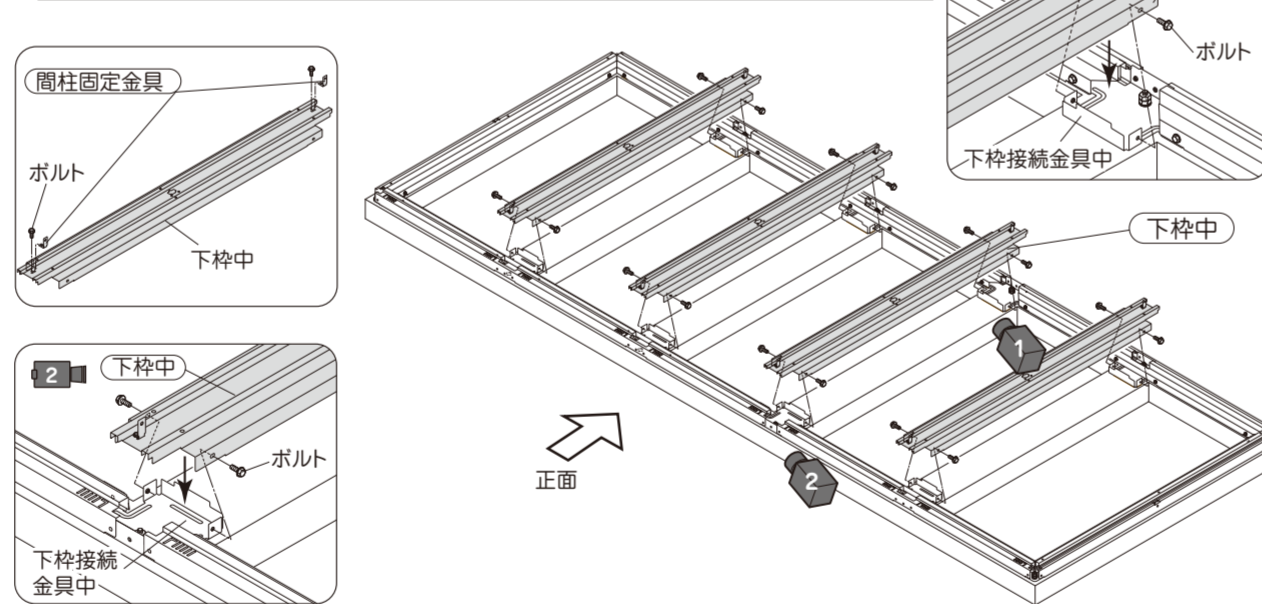


**注意** 水準器を使って基礎の水平を出してください。基礎の水平が出ていないとドアがスムーズに開閉しなかったり鍵がかかりにくくなります。

## 2 下枠中の取付け

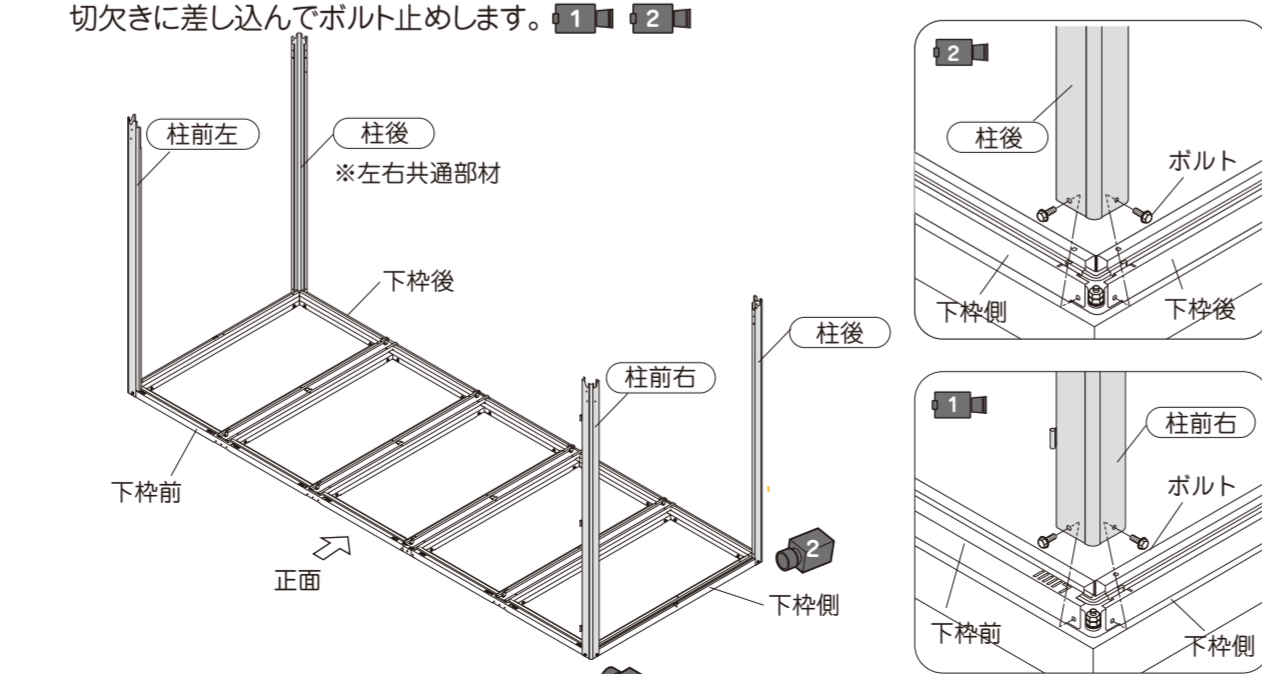
- ① 間柱固定金具 を(下枠中)の前後2ヶ所に差し込み、ボルトで固定します。
- ② 下枠中を下枠接続金具中の上からかかして、ボルトで固定します。下枠中の前後を間違えないようにしてください。(ラベルを確認してください。)

孔が合いにくい場合は、アンカーボルトを緩めて直角・平行を出し直してください。



## 3 柱の取付け(1)

- ① 柱前右・柱前左・柱後 を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。

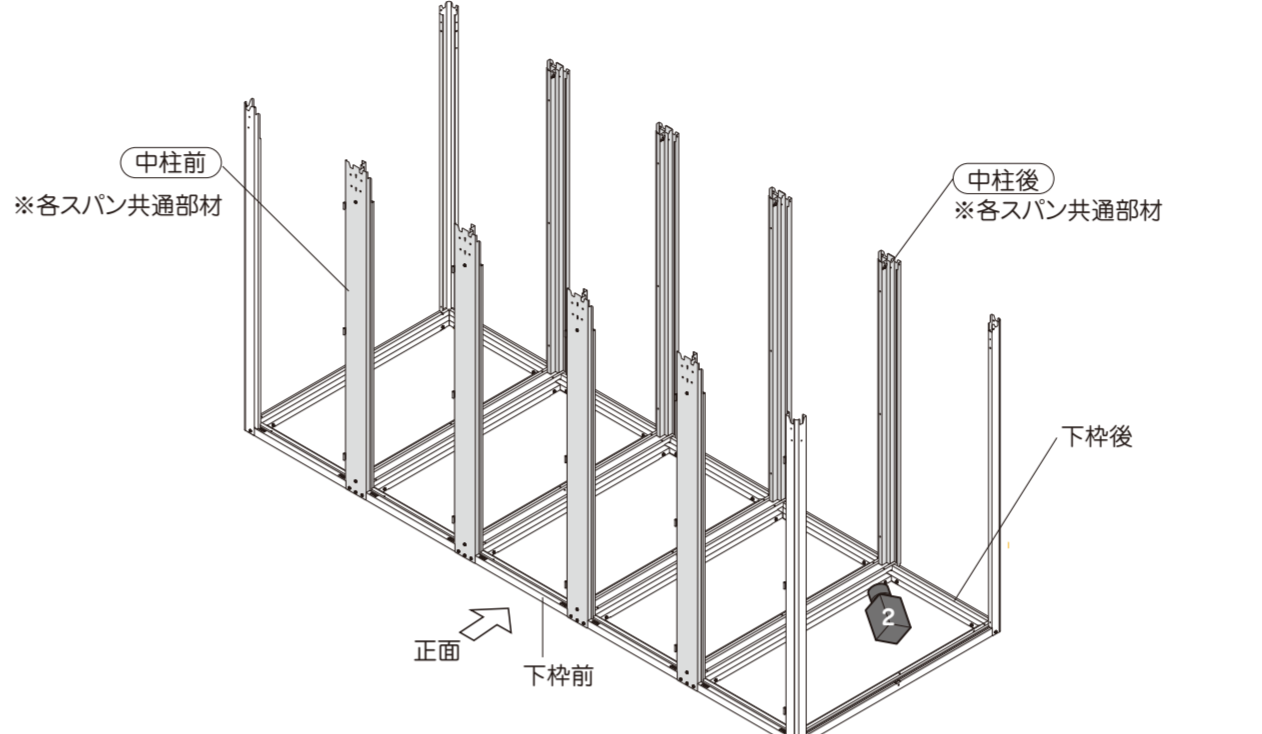
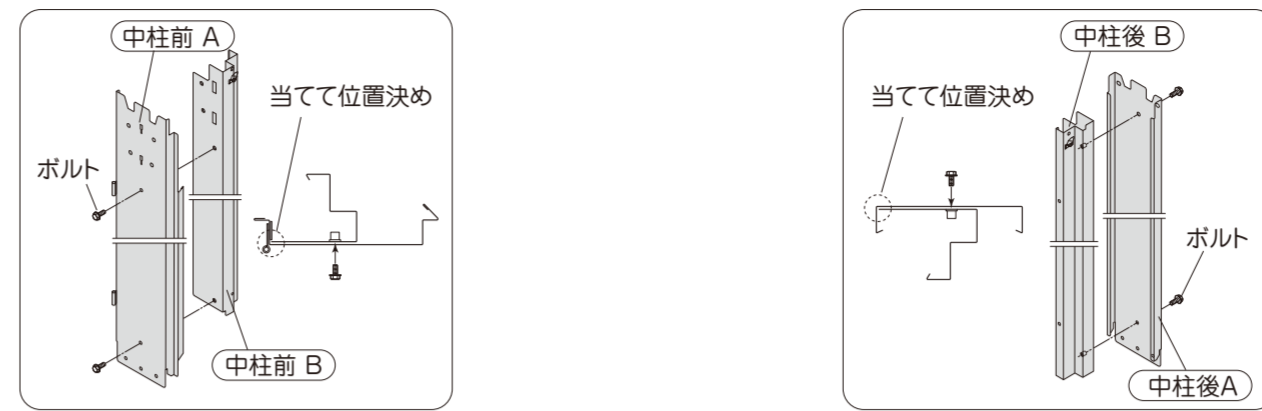


**注意** 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

使用梱包	LL5-0113
使用ボルト数	24本
使用梱包	LL5-0162
使用ボルト数	24本
使用梱包	LL5-0252
使用ボルト数	24本
使用梱包	LL5-0253
使用ボルト数	24本
使用梱包	LL5-0363
使用ボルト数	24本

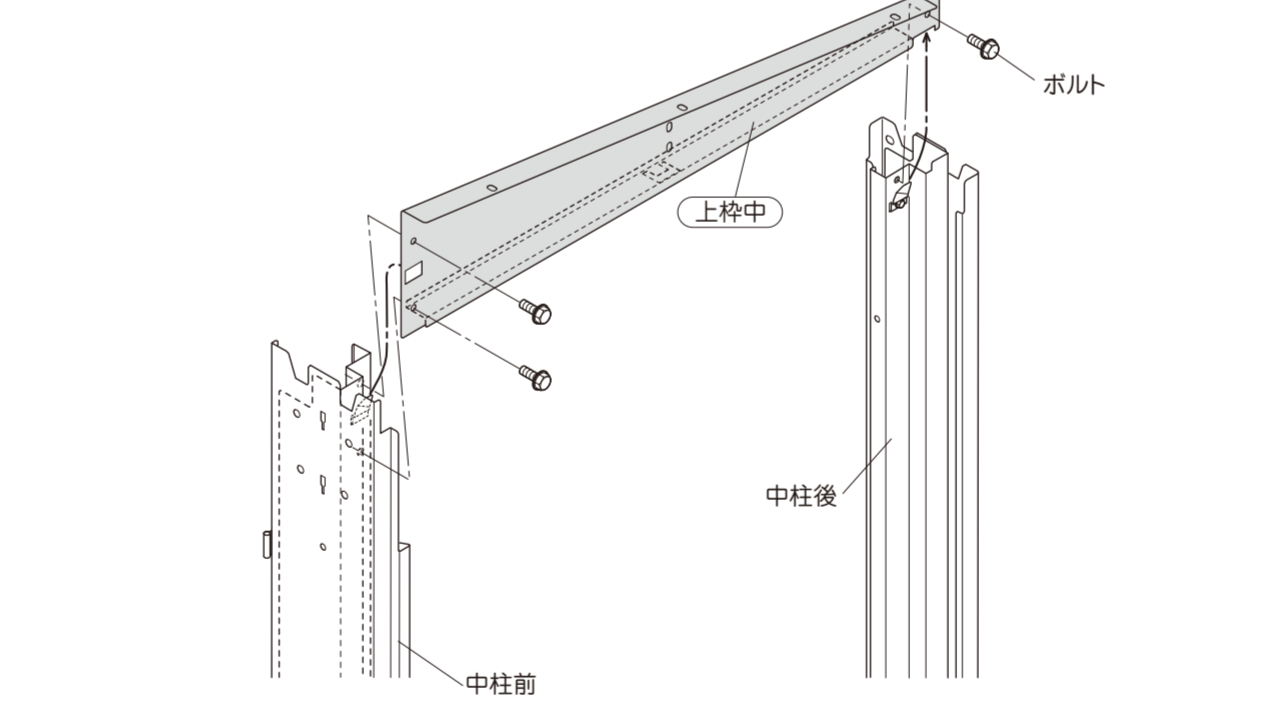
## 3 柱の取付け(2)

- ① 中柱前 A と 中柱前 B をボルトで固定し、中柱前とします。
- ② 中柱後 A と 中柱後 B をボルトで固定し、中柱後とします。
- ③ 中柱前・中柱後を、間柱固定金具および下枠にボルトで固定します。



## 4 上枠中の取付け

- ① 上枠中 を中柱前および中柱後のツメに引掛けて一時預けし、ボルトで固定します。

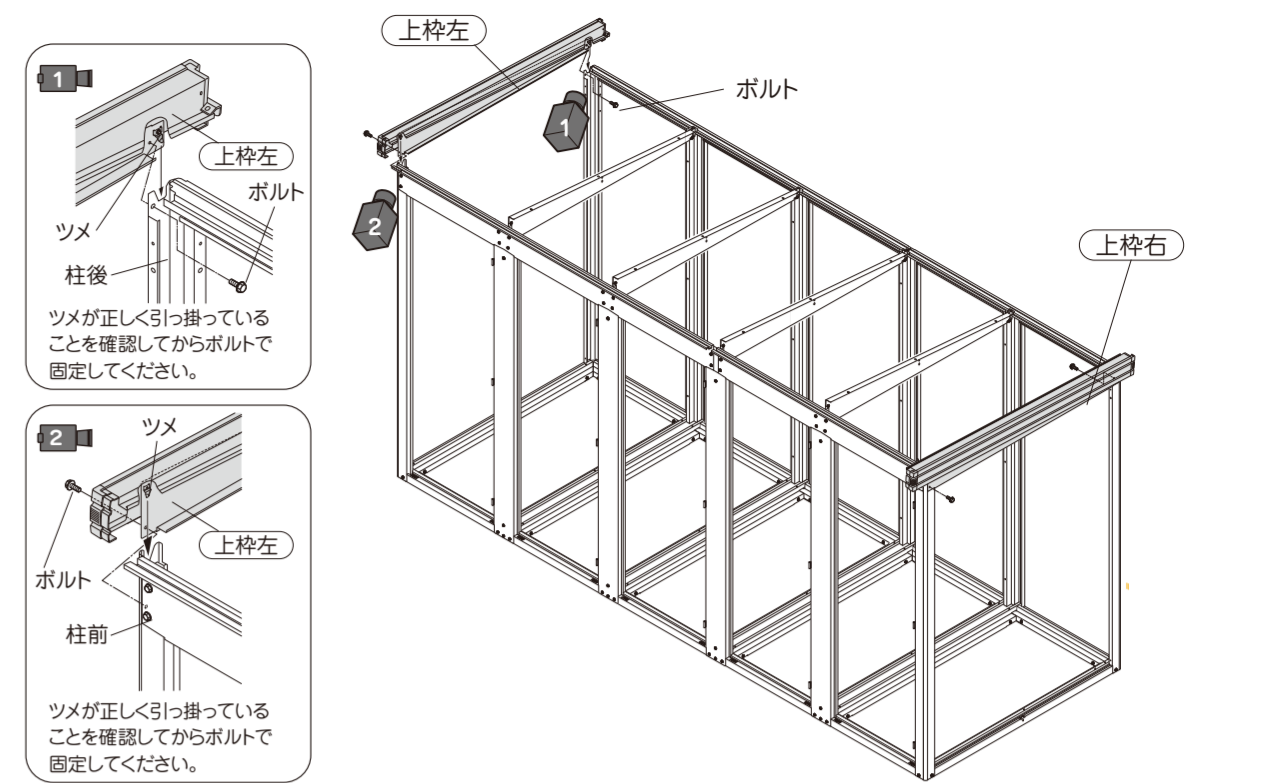


使用梱包	LL5-0422
使用ボルト数	48本

使用梱包	LL5-0313
使用ボルト数	12本

## 6 上枠左右の取付け

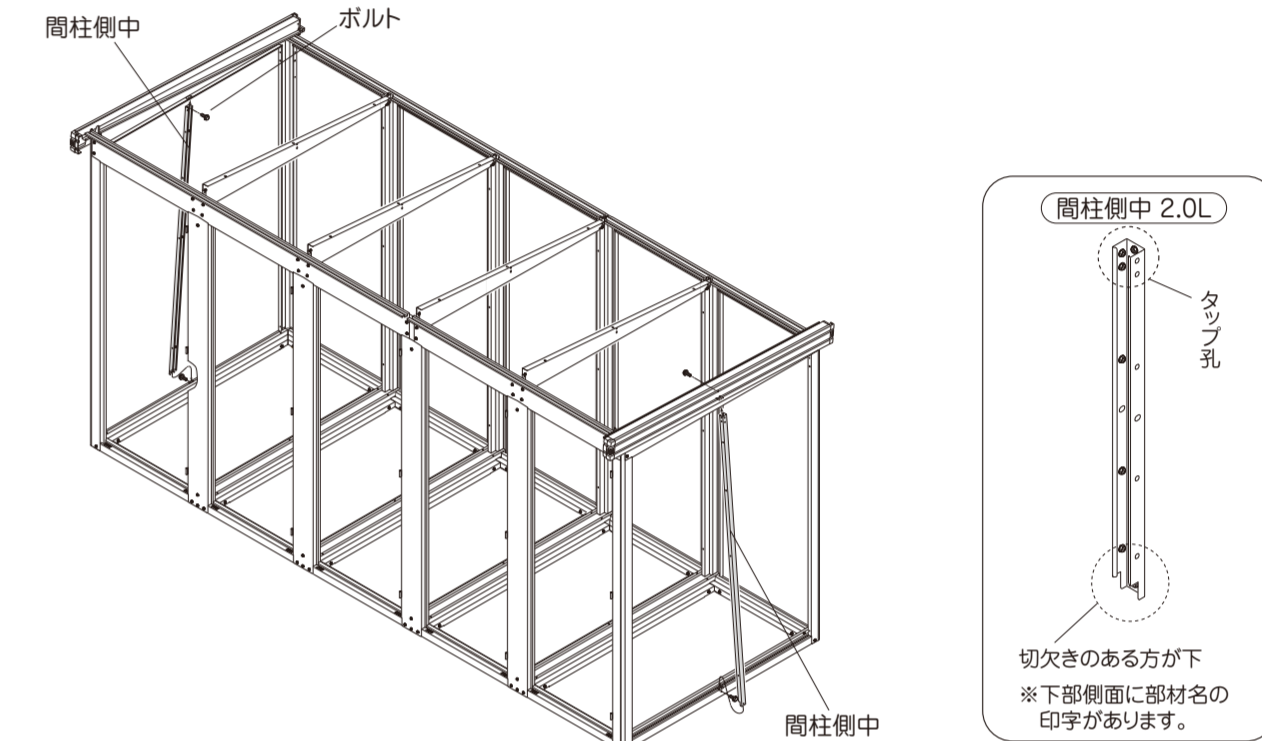
- ① 上枠左・上枠右 を柱に取付けます。



使用梱包	LM5-0303
使用ボルト数	4本

## 7 間柱側の取付け

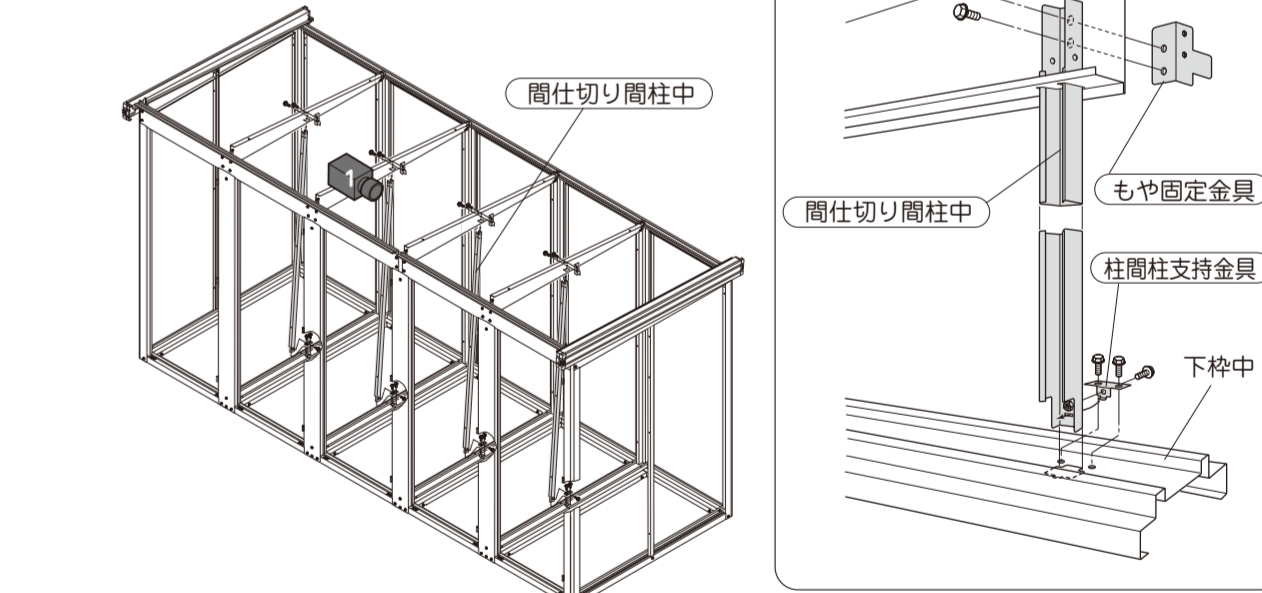
- ① 間柱側中 の上端を上枠側に差し込み、次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。



使用梱包	LL5-0402
使用ボルト数	4本

## 8 間仕切り間柱の取付け

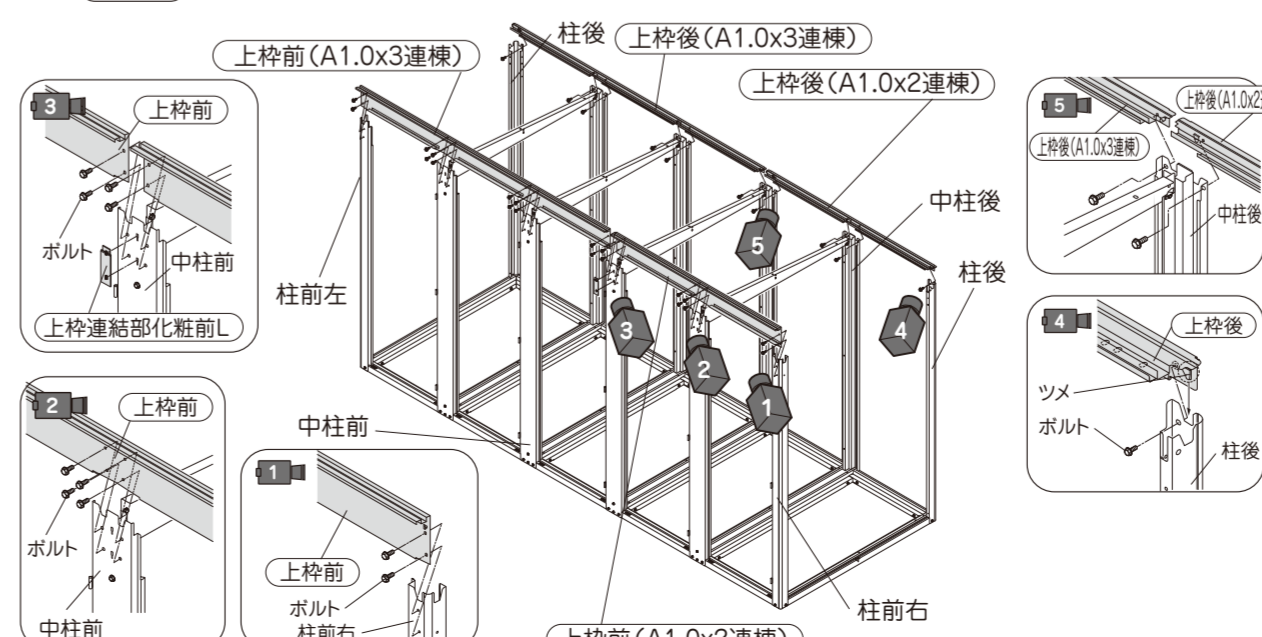
- ① 柱間柱支持金具 を 間仕切り間柱中 の下端にボルトで取付けます。
- ② 間仕切り間柱中の上側を上枠中の角孔に差し込み、次に下枠中に差し込み、下端をボルトで止めます。
- ③ もや固定金具 を間仕切り間柱中の上端に図のようにはめ込みボルトで2点固定します。



使用梱包	LL5-0113
使用ボルト数	20本

## 5 上枠前後の取付け

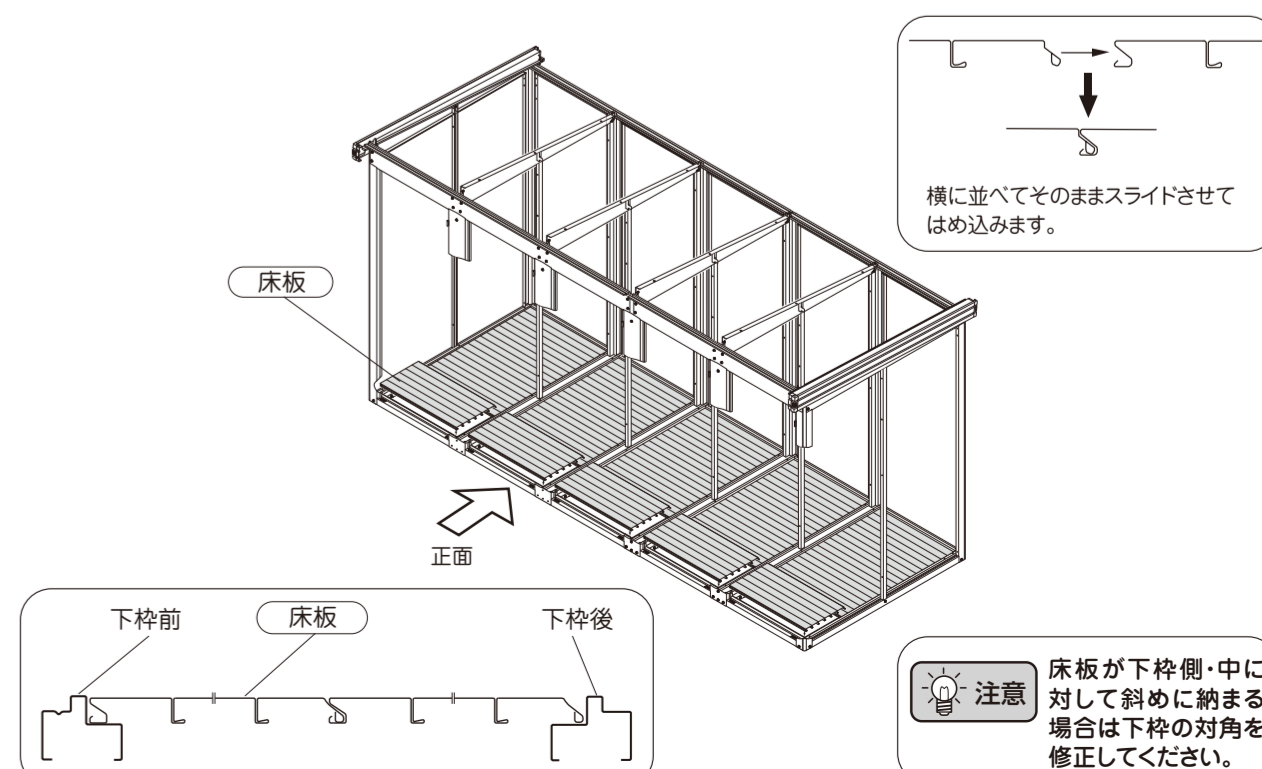
- ① 上枠前 のツメを柱前左・柱前右・中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
- ② 上枠連結化粧前L を中柱前(上枠前の連結部のみ)に取付けます。
- ③ 上枠後 のツメを柱後・中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



使用梱包	LL5-0113
使用ボルト数	30本

## 9 床の設置

- ① 床板 を後から前に向かって順番に並べていきます。



使用梱包	LL5-0702
使用ボルト数	0本

# 10 下枠隙間隠し・床押えの取付け

① 下枠隙間隠しを柱前左・柱前右・柱後の根元に設置します。

② 床押えを下枠側・下枠中に取り付けます。

使用梱包 LL5-0113  
LL5-0162  
LL5-0363  
LL5-0382  
使用ボルト数 30本

側面部 庫内側に寄せて固定

中間部 庫内側に寄せて固定

注意 側面部・中間部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取り付けてください。外寄りに取り付けると壁パネルが入りこくなる場合があります。

# 11 屋根連結材の取付け

① 屋根連結材・屋根連結材 NNを上枠中に取付けます。屋根連結材は上枠前・上枠後の連結箇所に取り付けます。その他の箇所に屋根連結材 NNを取付けます。取付け箇所を間違えないようにしてください。

使用梱包 LL5-0313  
LL5-0342  
使用ボルト数 12本

注意 屋根連結材には前後がありますので注意してください。

屋根連結材 NN

屋根連結材

前後ヘキサート有

前後ヘキサート無

# 12 屋根の取付け

① 屋根を1棟に付き1枚、右端から順番に載せて上枠前・上枠後にボルト止めします。※裏面に「⇒前屋根」の印字がある方を前にします。

注意 屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。

屋根

前屋根

ワンポイント ボルトは仮止めしておく壁パネル(工程14)が入り易くなります。仮止めた場合は壁パネル取付け後(工程14)に本締めしてください。

# 13 もやの取付け

① もやを正面から間柱側、もや固定金具、間仕切り間柱に載せてボルト止めします。

使用梱包 LL5-0502  
LL5-0503  
使用ボルト数 40本

ワンポイント 屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

# 14 壁パネルの取付け

①室内から壁パネルをはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)

②柱・間柱にボルト止めします。

使用梱包 LM5-1003  
LM5-1004  
使用ボルト数 102本

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取付けてください。

ワンポイント ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり間柱上の横受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

# 15 鼻隠し接続金具の取付け

① トイ(オプション)を取付ける場合は「オプションセット」の組立説明書先にお読みください。

① 鼻隠し前接続金具を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけたボルトを締め直します。

② 鼻隠し後接続金具を屋根連結材の後端部にボルト止めします。

使用梱包 LL5-0162  
使用ボルト数 6本

# 16 鼻隠しの取付け

① 鼻隠し前をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。連結部分は鼻隠し前連結化粧樹脂を上からかぶせてボルト止めします。

② 鼻隠し後をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。

③ 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。

使用梱包 LL5-1102  
LL5-1103  
LL5-0162  
使用ボルト数 21本

ワンポイント ●ドアが枠材に干渉する場合 屋根・壁の固定ボルトをゆるめて柱前の建ちを修正してください。それでも直らない場合は、基礎の水平を確認してください。

ワンポイント ●ドアがスムーズに開閉しない場合 蝶番を固定しているビスをゆるめてドアがスムーズに開閉することを確認して締めなおしてください。

# 17 上枠固定L字アングルの取付け

① 上枠固定L字アングルを上枠前と柱前右に固定します。上枠前と中柱前も同様に固定します。

使用梱包 LL5-0113  
LL5-0162  
使用ボルト数 小ネジM4×10 10本

断面図

# 18 錠・ラッチ板の取付け

① 錠をドアの表側から孔に入れ、裏から錠の横の溝に合わせてラッチ板をたたき込みます。ラッチ板は最後までたたき込んでください。

使用梱包 LL5-0113  
LL5-0162  
使用ボルト数 0本

注意 必ずドアを吊り込む前に行ってください。蝶番を痛める恐れがあります。

# 19 ドアの吊り込み

① (ドア)を柱前右、中柱前に吊り込みます。

ワンポイント ドアは本体に対して90°以上開けた状態で吊り込んでください。

# 20 ドア開閉の確認

① ドアが枠材(柱・上枠・下枠)に干渉しないか確認します。

② ドアがスムーズに開閉するか確認します。

※図のようにドアが枠材に対して傾いているとスムーズに開閉出来ません。

# 21 アームストッパーの取付け

① アームストッパーをドア・上枠前に取付けます。

使用梱包 LL5-0113  
LL5-0162  
使用ボルト数 皿小ネジM5×16 20本

ワンポイント 先にドア側を取付けて、次にもう一方を上枠前に取付けてください。

# 22 取手の取付け

① 取手をドアにはめ込みます。

② 庫内からクサビを差し込んで固定します。

使用梱包 LL5-0113  
LL5-0162  
使用ボルト数 0本

クサビを扉と取手の間にしっかりと差し込んで下さい。

# 23 棚板の取付け

① 棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

② 棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.0が2枚付いています。)

注意 棚板は制限重量を表示している面が正面に見えるように取付けてください。

ワンポイント 蝶番は下段⇒中段⇒上段の順番で差し込み入り易くなります。

# 24 その他部品の取付け

① ドア表面の注意・警告ラベルに機種名と錠No.を記入します。

② 屋根隙間隠しBを上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。同様に上枠後の屋根と屋根連結材・屋根連結材 NNの重ね部に取付けます。

③ 銘板を鼻隠し前の右端に貼ってください。

使用梱包 LL5-0113  
LL5-0162  
使用ボルト数 0本

ワンポイント 屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

① ドアの開閉がスムーズにできるかご確認ください。

② 錠が正常に作動するかご確認ください。

③ 棚板の配置確認をしてください。

④ 機種名と錠No.が記入されたか確認してください。(ドア面の注意・警告ラベル)

⑤ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

お客様へ 取扱説明書、保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

LLD-0815  
ヨドコウ  
LLD-0815\_KS\_2025A